

未来社会創造事業 探索加速型探索研究
事後評価結果

1. 領域

「持続可能な社会の実現」領域

2. 重点公募テーマ

新たな資源循環サイクルを可能とするものづくりプロセスの革新

3. 研究開発課題名

革新的ハロゲン循環による材料の高資源化プロセスの開発

4. 研究開発代表者名(機関名・役職は評価時点)

吉岡 敏明(東北大学大学院 環境科学研究科 研究科長・教授)

5. 評価結果

脱ハロゲン技術は今後のプラスチック生産・循環において非常に大きな意味を持つことから、本研究開発課題は世界でも達成されていない高効率な方法の提案が高く評価され採択された。

探索研究期間においては、脱塩素技術開発ラボ機を設計・製作し、実廃材をサンプルとした実験で、プラスチックからの脱塩素に関する目標値が到達できており、技術実証はできたと評価された。また、産業界との連携を積極的に行い、社会実装に向かっていく姿勢も評価された。

今後は、探索研究の成果を踏まえ、プラント実機試験設計、経済性検討やデモンストレーションなど社会実装に向けて研究開発を進めると共に、脱塩素と言う喫緊の社会課題に関する経済産業省、環境省事業等での実施、あるいは民間主導事業の技術移転支援プログラムでの発展的な実施が期待される。

以上